
「成人T細胞白血病・リンパ腫に対するインターフェロンα/ジドブジン併用療法と Watchful Waiting 療法の第III相ランダム化比較試験（JCOG1111）」登録施設拡大のお知らせ

2013年9月より、JCOG（日本臨床腫瘍グループ）のリンパ腫グループの臨床試験として、抗がん剤の全身治療を受けていない、皮膚病変などを有するくすぶり型・慢性型のATLに対する標記試験を行っていることを以前にご紹介しました。

先進医療BとしてATLに保険適用のないインターフェロンαとジドブジンを用いて臨床試験を行い、この併用療法の有用性を検証し、両薬剤の本疾患に対する薬事承認（効能追加）を目指しています。当初少数の施設で登録を開始し、インターフェロンα/ジドブジン併用療法の安全性に問題のないことが確認されたことを受けて、実施施設数を順次拡大しながら試験を進めています。対象となる患者さんの多い九州地区の医療機関でも実施しています。

目標症例74例に対し、これまでに13名の患者さんが登録されています。希少疾患であるATL患者さんの治療向上のため、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

◇適格基準、実施医療機関、問い合わせ先など、詳細につきましては下記URLを御参照ください。
<http://www.ncc.go.jp/jp/ncce/division/jcog1111/index.html>
